DIVA® ディーバ 蛍光灯調光器 DVF-153P-JA5（50Hz用） DVF-153P-JA6（60Hz用） 取付説明書

※ 型番の末尾にカラー記号が付きます。-WH：ホワイト、-AL：アーモンド、-IV：アイボリー、-GR：グレー、-BR：ブラウン、-BL：ブラック

施工者への安全上のご注意

・施工の前に、この「取付説明書」をよくお読みの上、正しく施工してください。
・施工の後は、「取付説明書」を必ずお客様にお渡しください。

⚠ 警告

● 本器の取付は、「取付説明書」に従い確実に行ってください。
不確実な取付をしますと、火災・感電・けがの原因となることがあります。

● 本器の取付には、電気工事士の資格が必要です。取付は、必ず工事店に依頼してください。
一般の方の取付は、法律で禁止されています。感電するおそれがあります。

● 指定された電圧および最大負荷容量を超過して使用しないでください。
過熱・火災の原因となります。

● 複数の調光器を連結取付する場合は、最大負荷容量を軽減してください。軽減する場合は、フェースプレート表面に最大容量を表示してください。
最大負荷容量を超えると、過熱・火災の原因となります。

● 調光器が内蔵されている照明器具には、使用しないでください。
照明器具の過熱の原因となることがあります。

● 取付を始める前に、ブレーカの電源を必ず切ってください。
感電するおそれがあります。

● 電線はφ1.6またはφ2.0Cu（銅）単線を使用してください。被ふくを14mmむき、端子にしっかりと深く差し込んでください。より線を使用する場合は、絶縁被ふく付棒形圧着端子をご使用ください。
指定サイズ以外の電線の使用や差し込み不十分な結線は、過熱・火災の原因となることがあります。

● 誤配線または回路を短絡しないでください。
器具の内部素子が一瞬にこわれ、火災の原因となることがあります。

● 風呂場など、水や湿気の多い場所には取り付けないでください。
感電するおそれがあります。

● 本器は屋内専用です。屋外には取り付けないでください。
感電するおそれがあります。

● 本器背面の保護カバーを取り外さないでください。
感電するおそれがあります。

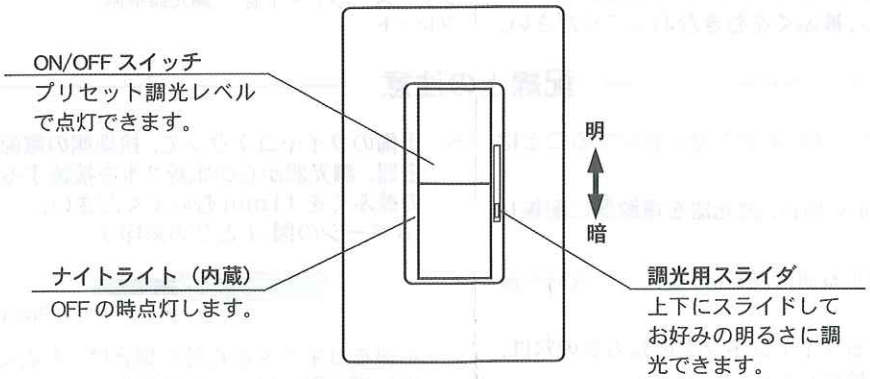
⚠ 注意

● メガテスト、ブレーカのトリップテストをする場合は、本器を取り付ける前に行ってください。器具の負荷側回路の短絡は、器具の破損につながります。

● 周囲温度0～40℃のところに取り付けてください。

※ 上記の警告・注意事項を守らずに使用すると、火災などの事故につながることになり危険です。

各部の名称



LUTRON®

This product may be covered by one or more of the following U.S. patents: 4,835,343; 5,207,317; DES 364,141 and corresponding foreign patents. U.S. and foreign patents pending. Lutron, ルートロン, Hi-lume, and Diva are registered trademarks and Eco-10 is trademark of Lutron Electronics Co.,Inc. ©1998 Lutron Electronics Co., Inc.

Made and Printed in U.S.A. 9/12 P/N 031-163 Rev.C

定格・仕様

電源電圧	15A、AC100V、	適合負荷	下記のルートロン製調光用安定器使用の蛍光灯器具
周波数	DVF-153P-JA5: 50Hz DVF-153P-JA6: 60Hz	最大負荷容量	
使用周囲温度	0～40℃（屋内専用）		
適合スイッチボックス	1個用		
適合電線	φ1.6またはφ2.0 Cu（銅）単線（より線を使用する場合は、絶縁被ふく付の棒型圧着端子をご使用ください。）		

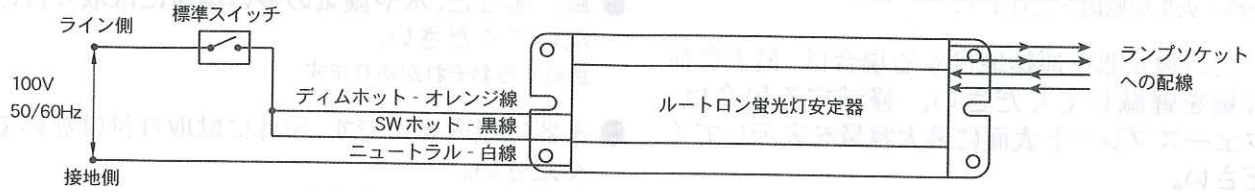
安定器の型番	ランプ形式	最大器具数 ( )内はランプ数
FDB-4843-100-1（1灯形）	40W	36 (36)
FDB-4843-100-2（2灯形）	40W	18 (36)
FDB-4826-100-1（1灯形）	Hf	40 (40)
FDB-4826-100-2（2灯形）	Hf	20 (40)
ECO-401198-100-1（1灯形）	40W	36 (36)
ECO-401198-100-2（2灯形）	40W	18 (36)

注）・40W形器具とHf器具の両方を1台のディーバに接続することはできません。
・上記以外のハイルーム安定器を使用する場合の最大器具数は、15Aを安定器に表示されている入力電流で割った数になります。

取付を始める前に

取付を始める前に、次のような動作確認をしてください。

1. 配電盤の電源を切ります。
2. 標準のスイッチを用意し、下図を参考に接続します。
3. 電源を入れます。
   ・ランプが点かない場合は、接続不良が考えられます。
   ・ブレーカがとんだ場合は、回路が短絡しています。
4. 必要な場合は再び電源を切り、不良箇所をなおした後、再度確認してから取付を始めてください。



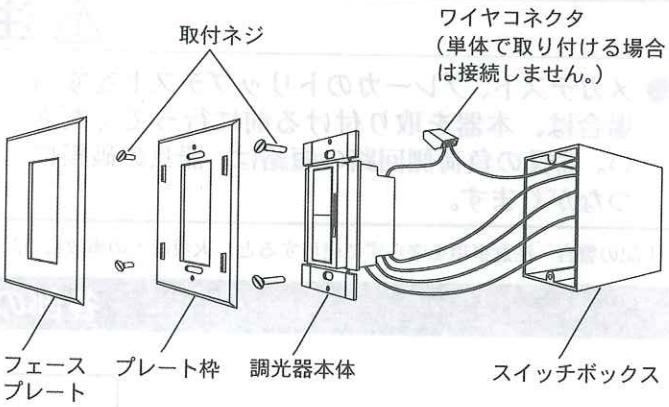
取付・配線のしかた

※ 取付には、必ずスイッチボックスを使用してください。

1. 配電盤の電源を切ります。
2. 電線の被ふくを14mmむきます。
   電線が曲っている場合は、まっすぐにしてください。

3. 芯線を本体の電線穴に、確実に奥まで差し込みます。
   ・単体で取り付ける場合：3ページの図-1を参考に、調光器の4つの電線穴に電線を接続します。ワイヤコネクタの付いた電線は、使用しません。
   ・3路スイッチを接続して2ヵ所で操作する場合：3ページの図-2を参考に、調光器の4つの電線穴に電線を接続します。ワイヤコネクタの付いた電線と、3路スイッチのライン入力電源を接続します。

   電線を外す場合は、電線外し穴にマイナスまたはプラスドライバを差し込み、電線を引き抜きます。再接続する場合は電線の先を切り落とし、被ふくをむきなおしてください。
4. 本体をスイッチボックスにネジ止めします。
   本体のUPの矢印を上にして、電線の接続部に無理な力がかからないように、スイッチボックスに納めてください。
5. プレート枠を本体にネジ止めします。
6. フェースプレートをプレート枠に取り付けます。



配線上の注意

1. 1つの3路配線回路に、2台の調光器を接続することはできません。
2. 3路スイッチを接続する場合、調光器を電源側に配線しないでください。
3. 本器を安定器に接続する前に、蛍光灯器具内の接続を確認してください。
4. 本体に接続されているワイヤコネクタの長方形の穴は、検電用です。電線を接続しないでください。
5. 予備のワイヤコネクタで、接地側の電源入力、蛍光灯安定器、調光器からの電線3本を接続する場合は、各電線の被ふくを11mmむいてください。
   （3ページの図-1と2の※印）

電線をコネクタから外す場合は、左右にねじりながら、少しずつ引っぱってください。

配線図

図-1：　単体で取り付ける場合

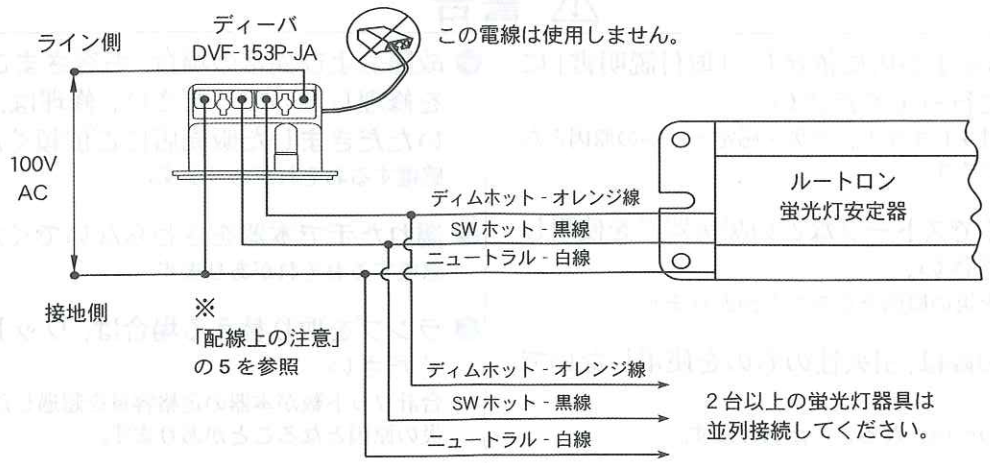
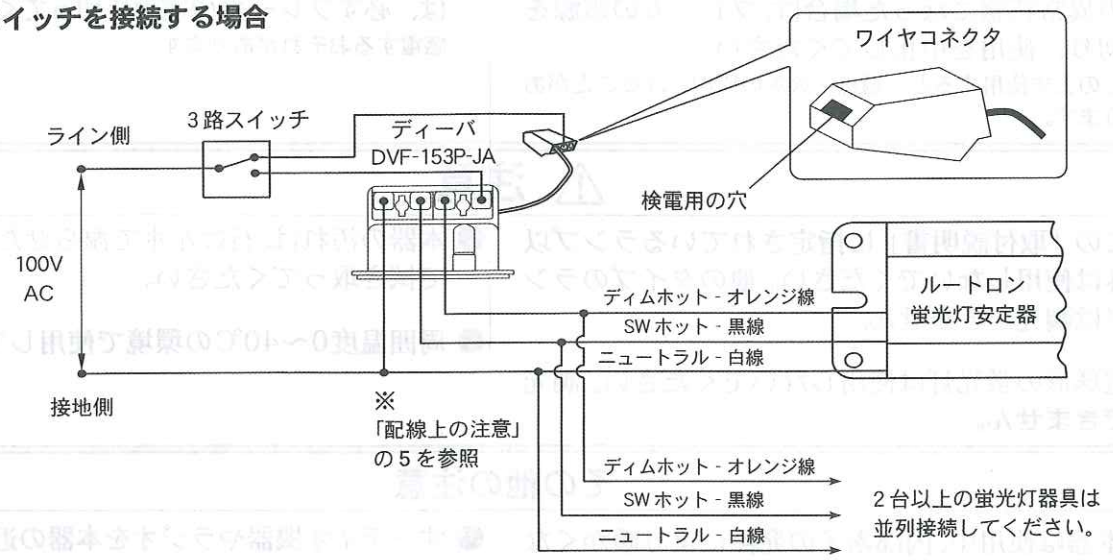


図-2：　３路スイッチを接続する場合



ローエンド調光レベルの設定

蛍光灯調光安定器の、ローエンド調光レベルの調整が必要な場合は、以下の手順で設定してください。

1. フェースプレートとプレート枠を取り外します。
2. スライダを一番下まで下げて蛍光灯を暗くします。
3. 電圧計（実効値タイプ）を接続します。
   図-2を参考に、安定器のオレンジ線と白線に接続します。
4. ローエンドの設定をします。
   補正ツマミを回して、蛍光灯を望ましいローエンドの明るさにします。
   ローエンド調光レベルは、下表の電圧より低く設定しないでください。蛍光灯が消えたり、ちらつき、ランプ寿命の短縮の原因となります。

DVF-153P-JA5 (50Hz用)	45.5V - 46.5V（100V 50Hz）
DVF-153P-JA6 (60Hz用)	45.5V - 46.5V（100V 60Hz）

注）50Hz用の調光器を周波数60Hzの地域で、または60Hz用の調光器を周波数50Hzの地域で使用しないでください。

図-1：フェースプレートを取り外した状態

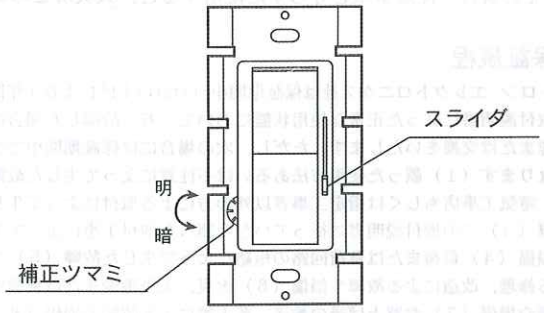
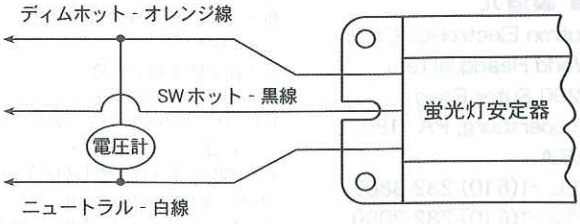


図-2：電圧計の接続



使用者への安全上のご注意

・ご使用の前に、この使用者への安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
・お読みになった後は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

⚠ 警告

- 取付は、必ず工事店に依頼し、「取付説明書」に従い確実に行ってください。
  不確実な取付をしますと、火災・感電・けがの原因となることがあります。
- 本器の近くでストーブなどの暖房器具を使用しないでください。
  機能障害・火災の原因となることがあります。
- お手入れの際は、引火性のものを使用しないでください。
  爆発・火災の原因となることがあります。
- 本器が故障している場合や、万一、煙が出る等の異常状態になった場合は、ブレーカの電源を切り、使用を中止してください。
  そのまま使用すると、過熱・火災の原因となることがあります。
- 故障および異常の場合、お客さまご自身で本器を修理しないでください。修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。
  感電するおそれがあります。
- 濡れた手で本器をさわらないでください。
  感電するおそれがあります。
- ランプを取り替える場合は、ワット数をご確認ください。
  合計ワット数が本器の定格容量を超過した場合、過熱・火災の原因となることがあります。
- ランプ交換やランプおよび本器のお手入れの際は、必ずブレーカの電源を切ってください。
  感電するおそれがあります。

⚠ 注意

- この「取付説明書」に指定されているランプ以外は使用しないでください。他のタイプのランプは調光できません。
- 電球形の蛍光灯は使用しないでください。調光できません。
- 本器の汚れは、石けん水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。
- 周囲温度0～40℃の環境で使用してください。

その他の注意

- 本器は使用中、内部素子の発熱により暖かくなりますが、異常ではありません。
- ご使用中にわずかなうなり音を発生することがありますが、異常ではありません。
- オーディオ機器やラジオを本器の近くで使用すると、雑音が発生することがあります。オーディオ機器にアースを取り付けることにより、雑音を少なくすることができます。

※ 上記の警告・注意事項を守らずに使用すると、火災などの事故につながることになり危険です。

■ 保証規程

ルートロン エレクトロニクス社は保証期間中（お買い上げ日より１年間）に、この取付説明書に従った正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理または交換をいたします。ただし、次の場合には保証期間中でも有料修理となります（1）誤った使用方法あるいは不注意によって生じた故障や損傷（2）電気工事店もしくは指定工事者以外の方による取付によって生じた故障や損傷（3）この取付説明書に従っていない誤った取付工事によって生じた故障や損傷（4）負荷または負荷回路の短絡によって生じた故障（5）当社以外による修理、改造による故障や損傷（6）火災、天災地変または異常電圧による故障や損傷（7）お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷（8）製品の故障によって生じた周辺設備に対する損傷。（9）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
修理につきましては当社または販売代理店にご相談ください。

■ 保証書（必ずご記入ください。）

品　　番	DVF-153P-JA5・DVF-153P-JA6
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	
お客様	お名前
	ご住所 〒
	電話番号

取扱販売店名・住所・電話番号

印

■ 製造元

Lutron Electronics Co., Inc.
World Headquarters
7200 Suter Road
Coopersburg, PA 18036
U.S.A.
TEL +1(610) 282-3800
FAX +1(610) 282-3090

日本支社
ルートロン アスカ株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂1-9-20
第16興和ビル南館4階
TEL：03-5575-8411　FAX：03-5575-8420
ルートロンホットライン
0120-083417（目に優しいな）
E-mail：asuka@lutron.com
ホームページ：www.lutron.com/japan

インターネットアドレス　www.lutron.com